TOSHIBA

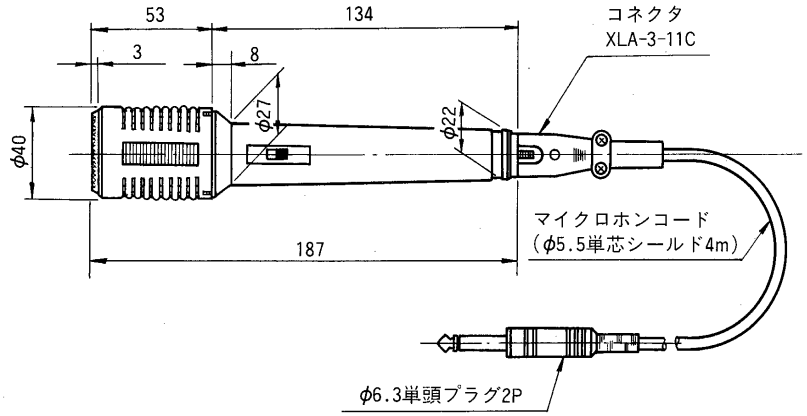
東芝単一指向性ダイナミックマイクロホン取扱説明書

ADM-1301US

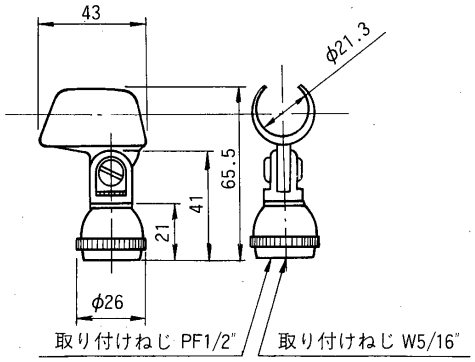
このたびは東芝単一指向性ダイナミックマイクロホンをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
お求めのマイクロホンを正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

各部のなまえと大きさ

本　体



付属マイクロホンホルダー　　単位 mm



特にご注意を

取 扱 い

- たたいたり、床に落としたりなど強い衝撃を与えないでください。
- 雨の中などでの使用はさけてください。特性がかわったり故障の原因となります。

分解しないでください

- 一度分解しますと、もとどおりの感度、特性に組み立てなおすことが困難ですから分解しないでください。

保管場所

- マイクロホンは湿度の多いところ、温度の高いところ、磁気を帯びた場所をきらいます。夏のしめきった車内やアンプの上などには置かないでください。

スピーカに近づけないでください

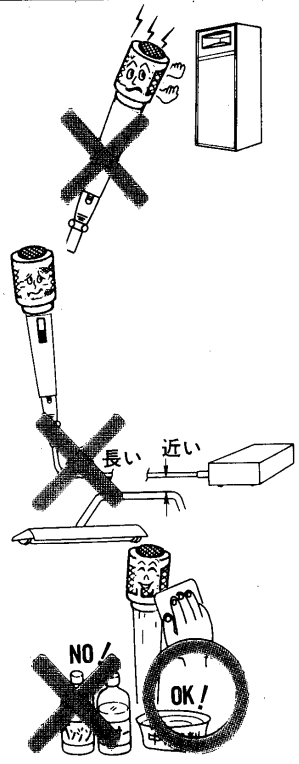
- スピーカに近づけたり、スピーカに近いところでスピーカの方に向けるとハウリングをおこします。ハウリング防止のため、スピーカから離してご使用ください。

配線について

- アンプとの距離が約10m以上になりますと誘導等によりノイズの発生する場合があります。平衡にするかアンプとの距離を短かくしてご使用ください。

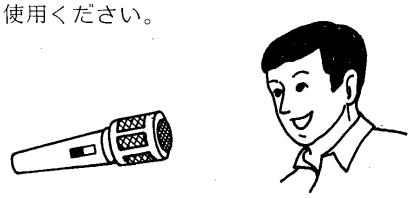
お手入れ

- 汚れがひどいときは水か中性洗剤をひたした布でふいたあと、からぶきしてください。シンナーやベンジンは使用しないでください。



使いかた

- マイクロホンは口元の方向にむけてご使用ください。



- マイクロホンスタンドに取りつけるときは、付属のマイクロホンホルダーをご使用ください。

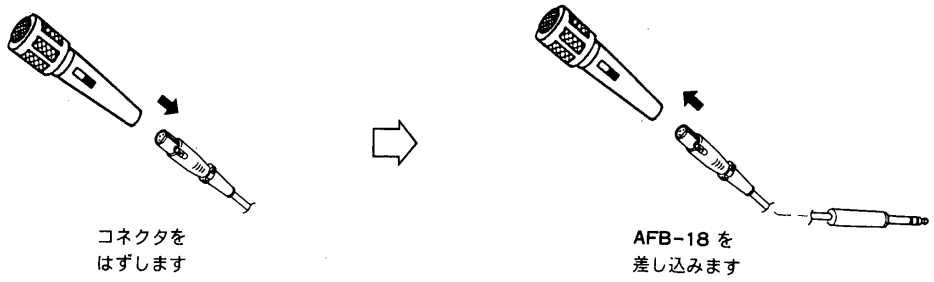
お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

TOSHIBA

平衡形にするには

●マイクロホン本体の出力は平衡形となっていますが、単芯シールドコードを使用し不平衡出力となっています。

●平衡形としてご使用の場合は別売のマイクロホン延長コード(形名：AFB−18)をご使用ください。



マイクロホン延長コードを使用する場合

修理サービス

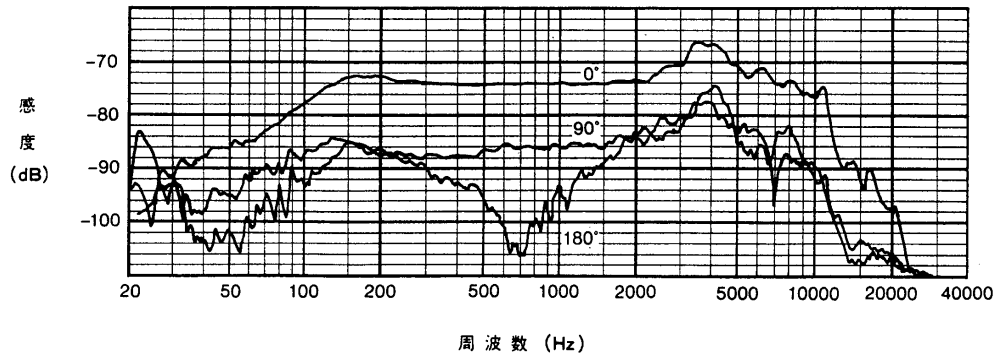
ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、お買いあげの販売店またはお近くの東芝消費者ご相談センター、東芝サービスステーションにご相談ください。なおご相談されるときは形名（ADM−1301US）およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

規　格

仕　様

形　　式	ダイナミック形
感　　度	−76dB±3dB 0dB＝1V/μbar・1000Hz
周波数特性	120〜11000Hz(偏差15dB)
指向特性	単一指向性
出力インピーダンス	600Ω±30%平衡(出力コネクタ内で不平衡接続)
風　雑　音	61 dB SPL/2m/sec以下
誘導雑音	9dB SPL/mGauss以下
使用温度範囲	−10℃〜+50℃
重　　量	210g
仕　上　げ	シルバーメタリック塗装
付　属　品	マイクロホンコード (φ5.5単芯シールド4m XLA-3-11Cコネクタφ6.3、2Pプラグ) …1 マイクロホンホルダー……1 取扱説明書……1 サービスステーション一覧表……1

指向感度周波数特性



東芝ライテック株式会社 照明電材事業部　〒140　東京都品川区南品川2丁目2番13号(南品川JNビル) TEL (03) 5463−8779

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

(11911) A